

川内原子力発電所温排水影響調査事業

保科圭佑，小湊幸彦，富安正藏，東剛志

【目的】

昭和57年度からの継続調査で，川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を調査する。

【方法】

調査の日程，項目は下記のとおりである。調査項目は，水温・塩分，流況，海生生物（海藻類，潮間帯生物（動物）），主要魚類及び漁業実態調査で，調査定点，方法とも前年と全て同じである。

調査項目	調査の内容	実施時期		
		春季	夏季	冬季
1 水温・塩分	(1)水平分布 (2)鉛直分布		平成26年7月28日 平成26年7月28日	平成27年3月6日 平成27年3月6日
2 流況	(1)25時間調査 (2)15日間調査		平成26年7月28～29日 平成26年7月24日～8月7日	平成27年3月6～3月7日 平成27年3月3日～3月17日
3 海生生物	(1)海藻類 (2)潮間帯生物	平成26年5月28～30日 平成26年5月28～29日		
4 主要魚類 及び 漁業実態	(1)イシ類(シラス) バッチ網 (2)マダイ,タイ	平成26年1月～12月(周年) 平成26年4月～12月		

【結果】

川内原子力発電所1，2号機は定期検査中のため，温排水の放水はなかった。また，流況や周辺海域の海藻類，潮間帯生物（動物），主要魚類及び漁業実態についても，過去の調査結果の変動の範囲内であった。

なお，詳細な結果については，平成26年7月18日（第1回），平成26年11月14日（第2回）に開催された鹿児島県海域モニタリング技術委員会に提出した調査結果報告書及び『平成26年度温排水影響調査報告書』に記載したとおりである。